

第9回極真杯・第17回若鯨杯 空手道選手権大会

開催要項

- 【主催】 国際空手道連盟極真会館 尾張名古屋松田道場 【共催】 (一財) 極真奨学会・極真会館滋賀県総本部
 【後援】 予定：愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・中日新聞社・東海テレビ放送・東海テレビ福祉文化事業団
 愛知県フルコンタクト空手道連盟・名古屋市フルコンタクト空手道連盟
 【開催日時】 平成29年8月20日(日) 受付開始 午前9時15分～9時45分・開会式10時・試合開始10時30分
 【試合会場】 志段味スポーツランド 愛知県名古屋守山区大字下志段味字生下り2287番地の1

- 【階級】 「極真杯」：一般上級(緑・茶・有段 高校生以上出場可) ※パンフレットに顔写真を掲載しますので写真添付のこと。
 軽量級65kg未満・中量級65～75kg未満・重量級75kg以上を原則。(申し込み状況に応じて軽量・重量の場合あり)
 「若鯨杯」：①幼年(またはジュニア幼年部) ②小学生男子・小学生女子(初級・上級 各学年別)
 ③中学生 ④高校生 ⑤壮年(35以上) ⑥一般女子(中学生以上 ※3参照)
 ⑦一般中級(白、オレンジ、青、黄帯 無級～5級まで ※3参照)
 ⑧スパークカラテ(打撃力30%までのライトコンタクト組手、特に上段・中段への蹴り技のクリーンヒットを競います。強打は反則になります。有効2つで技ありになります。別紙参照)
 ※1 上記を階級分けの原則としますが、申し込み状況に応じて学年・階級の統一などの変更をする場合があります。
 ※2 初級は、「大会経験が少ない」「入賞など実績がない、または少ない」「茶帯・黒帯は参加不可」以上が対象・基準となります。
 ※3 全階級、体重、段・級(壮年・一般女子は年齢等)に応じて階級分け(軽量・重量、初級・中級・上級など)を行う場合があります。
 ※4 申込時の段・級の帯を着用。上級は4級以上。(流派の帯色が違う場合、級に応じたクラスに申し込んでください)
 ※5 白帯で武道格闘技経験者は年数・段・級等を正確に記入すること。

- 【表彰・副賞】 入賞者には賞状・トロフィーが与えられます。(階級の人数に応じて準優勝、優勝のみの場合があります)
 優勝者には全員副賞があります。準優勝以下の方には階級の人数に応じて副賞があります。

- 【ルール】 国際空手道連盟ルールを原則としますが、フルコンタクト空手道競技の発展・普及のため本大会より組手規定(主審・副審の同時上げ・注意の宣告順など)にフルコンタクト空手諸団体共通の試合規約の一部を採用します。対戦形式はトーナメントを原則としますが、人数により巴(ともえ)戦・ワンマッチの場合があります。(別紙参照)

【試合時間】

	本戦	延長戦(マスト)	決勝戦規定
幼年・小学初級・スパーク初級	1分	1分	決勝戦のみ延長戦で引き分けの場合、コップ蹴り試技で決定。(本人会より体重判定はなし) コップ蹴り：ボール(柱)上のコップを規定の蹴りで飛ばして勝敗を決定。(サドンデス方式・試技数により難易度アップ)
小学生上級・スパーク上級	1分30秒	1分	
中学・高校・一般女子・一般中級	1分30秒	1分30秒	
壮年	1分30秒	1分	
一般上級	2分(決勝3分)	2分(準決勝までマスト)	決勝のみ最終延長2分あり。マストシステム

【着用防具】

	ヘッドガード ※主催者用意	拳サポーター ※グローブ不可	レッグ サポーター	金的カップ サポーター	下腹部 ガード	女子胸ガード ※3参照	膝(ヒザ) サポーター	マウス ガード
幼年・小学	○	○	○	男子 着用 義務	女子 着用 任意	小学3年以上は推奨	3年以上義務	任意
中学・高校	○	○	○			なし	○	
壮年	△※4	○	○			なし	任意	
一般女子	△※4	○	○			○	任意	
一般中級	○	なし	○			なし	任意	
一般上級	なし	なし	なし			なし	なし	
スパークカラテ	○	○	○			小学3年以上は推奨	○	

- ※1 拳・レッグ・膝サポーターは布製を着用。極端に薄く硬い材質の物は着用禁止。使用可否は審議委員・審判団が判断します。
 ※2 拳・ヘッドガード以外の防具は全て空手衣の中に着用。テーピングは大会医師の許可が必要です。(大会本部で検印を押します)
 ※3 女子胸ガードはバスト部のみ保護するスポーツブラタイプを使用すること。プラスチック製などの強化胸ガードの使用は禁止です。
 ※4 壮年上級・一般女子上級はヘッドガードなし、拳サポあり、壮年中級以下・中学生女子選手はヘッドガードあり。

- 【参加料】 極真杯 8000円(顔写真2枚、空手衣着用 横3cm×縦4cmを1枚は申込書に貼り付け) ※極真杯・若鯨杯ともパンフレット・記念品・保険料含む。
 若鯨杯 7000円 ※一旦納入された参加料は準備の都合上、理由の如何にかかわらず返金致しかねます。

- 【送付先】 〒486-0927 愛知県春日井市柏井町5-80 極真会館尾張名古屋松田道場 大会事務局
 ※申込書に記入捺印、参加料を添えて現金書留で送付願います。(下記振り込みも可能) ※団体でまとめてお申し込み願います。
 参加費振込先：三菱東京UFJ銀行 勝川支店 普通 4588780 若鯨杯 代表 松田伸雄

- 【締め切り】 平成29年7月16日(日) 必着 問合せ先 極真会館尾張名古屋松田道場 電話 0568-85-5533・FAX 0568-85-5514

権威杯・若鷲杯空手道選手権大会ルール

挨拶

【審判員】

主審を含めた5名の審判員(3名の場合あり)で試合のジャッジを行うが試合内容に関する最終決定は、全て最高審判長の裁可に委ねられる。

【一本勝ち】

- ・ 反則箇所を除く部分への突き蹴りなどを瞬間的に決め、3秒以上ダウンさせるか意識喪失させた場合。
- ・ 技ありを二回取った場合(合わせ一本)
- ・ 泣いてしまっ試合を続行しない場合(ジュニアルール)

【技あり】

- ・ 反則箇所を除く部分への突き蹴りなどを決め、一時的にダウンもしくは意識喪失し3秒以内に立ち上がったとき、または倒れはしないがバランスを崩したとき。
- ・ ノーガードの上段(顔面・頭部)に蹴り技がグリーンヒットした場合。かすっただけで技ありとはならない。(ジュニアルール)
- ・ 上段への蹴りにより、ガードをいり倒れても倒れた場合(ジュニアルール)
- ・ 瞬間的な足掛けで相手の面足が地面から離れ体が浮いた後に倒れた相手へすぐに下段突きの、決め)を行った場合。

【判定】

- ・ 一本勝ちで決まらな場合も判定で勝敗を決定する
- ・ 判定は主審1名・副審4名のうち8名以上の妥協を有効とする。(3名審判の場合は2名以上とする)
- ・ 判定基準は両選手の試合の流れを把握し、以下の基準を元に判定を下す。
 - ① ダメージの有無 ② 攻撃可能部位への正確な攻撃の有無 ③ 手数や攻勢の内容 ④ 多様な技の駆使や攻迫・試合態度

【反則】

- ・ 反則には、悪質な場合を除き1回目で「注意1」、2回目が「注意2」、3回目「注意3」となり、4回目「注意4」で失格となる。また、1回目の反則でも「注意2」または「失格」となる場合がある。(主審・副審または審判長・審判委員長で協議)
- ・ (相手選手へのダメージが深刻な場合や審判の判断により、反則内容や態度が悪質とみなされた場合)
- ・ 両者の差が「注意1」の場合は勝敗への影響が少ないので試合内容で判断する。ただし最終延長戦において試合内容が全く互角なら「注意2」の選手が負けと判断する。
- ・ 両者の差が「注意2」の場合、基本技には「注意2」の選手が負けである。ただし試合内容が(8対2)以上の優位性がある場合は引き分けの場合もある。
- ・ A選手(技ありなし・注意なし)：B選手(技あり+注意1) → B選手の勝ち
- ・ A選手(技ありなし・注意なし)：B選手(技あり+注意2) → B選手の勝ち
- ・ A選手(技ありなし・注意なし)：B選手(技あり+注意3) → B選手の勝ち
- ・ A選手(技ありなし・注意なし)：B選手(技あり+注意4) → B選手は「技あり」があっても失格。
- ・ ※原則としてB選手の勝ちであるがA選手が試合内容で(8対2)以上の優位性があれば引き分けの場合もある。
- ・ A選手(技ありなし・注意なし)：B選手(技あり+注意4) → B選手は「技あり」があっても失格。
- ・ ただし、反則のやり得・さらけ損とならないよう、反則のダメージ・性質も考慮する。

【反則行為】

- ・ 手、肘、腕、肩による顔面及び首・のどへの攻撃。
- ・ ※胸や喉付近に手技攻撃が当たったのに顔面を押さえ、顔面を押さえたり金的を押さえたり金的を押さえたり試合を中断させた場合は「一本」または「技あり」になります。
- ・ 金的(男性)への攻撃 ※金的ではない下腹部や大腿の内側に蹴りが当たり金的を押さえたり試合を中断させた場合は「一本」または「技あり」になります。
- ・ 頭突きによる攻撃、倒れた相手への攻撃、背骨(脊椎・骨柱)への直後攻撃。
- ・ 相手選手の首から上、及び胴体へ手掛けた場合。同類または片腕を相手の脇に入れて攻撃を中断させる行為。(クリンチ)
- ・ 接近した状態で攻撃を中断し、胸および呼吸部を相手に接触し続けた場合。
- ・ 相手選手の手首、頭部・胴体・手足を掴んだ場合。柔道やレスリングのようにならず。
- ・ かき突き(フック)からの引っかけ、前腕で肩や腕の押さえからの絡繰り等の攻撃、前腕・手のひらを接触し続ける行為。
- ・ 技の掛け逃し(自分から倒れこまような攻撃を再三繰り返して何度も試合を中断させる場合)、何度も場外へ逃げた場合。
- ・ 頭部を相手に付けての攻撃、お互いの頭部を付けての相手、両手のひらを付けての相手。
- ・ 中足・足力・カカトによる正面からの膝関節への攻撃、※膝関節の骨折・脱臼など後遺症が大きいケガ防止のため禁止。
- ・ 審判がとくに反則とみなした場合。

【失格】

- ・ 「注意4」となった場合。※合計4回の注意で失格となります。
- ・ 試合中、審判員の指示に従わない場合。
- ・ 相意な振る舞い、特に悪質な反則、試合態度が非常に悪質とみなされた場合。
- ・ 出場時刻に遅れる場合、名前を呼ばれても出場しない場合。
- ・ 申告体重超過(幼年・小学生3kg・中学生以上5kg・体別別クラスの規定体重オーバーの場合)
- ・ セコンド・保護者・道場責任者の言動、態度が悪質な場合にも該当選手が減点もしくは失格になりうる可能性がある。

【その他】

- ・ 判定への抗議は原則として認めない。ただし正当な理由がある場合は大会本部まで申告を行い、審議の対象とすることもある。
- ・ 出場申込書に記入誤りがあった場合(学年・年齢等)は、失格となりうる可能性がある。
- ・ 主催者からのたのむ重なる注意に従わない場合は退場をさせる場合もある。

【ワンマッチ規定】

- ・ 2ラウンド制で行います。各回戦は規定のインターバルをはきみ、2ラウンドを蹴りそれぞれ別のラウンドで判定をとり、最後にトーナル判定を行い、勝敗を決定します。
- ・ トーナメント判定は、各ラウンドの勝ちが多い選手が勝ちとなります。
- ・ 第1ラウンドと第2ラウンドの勝ちが違えば、1・2ラウンド全体の①技ありの有無 ②注意の有無 で判定を下します。どちらも同じポイント、もしくはない場合は第1・2ラウンド全体の試合内容で判定が下されます。
- ・ 反則がある場合は通常の判定基準と同じ扱いとなりますがダメージや反則の質によっては第1ラウンドで失格になる場合もあり、この場合、第2ラウンドは行いません。
- ・ 一本、この場合は、第1ラウンドであっても試合は終了となります。第2ラウンドは行いません。
- ・ ひとつのラウンド中で「技あり」2回で「一本」となります。1ラウンドで「技あり」・2ラウンドで「技あり」の場合は「一本」にはなりません。
- ・ インターバルの際、選手は指定場所で待機します。セコンドは2名まで付き添い、可能でインターバル中にも選手に声かけができます。

【コップ戦り試合判定】

- ・ 各クラスの身長に応じた高さのポール(柱)の上に台を載せ、その上にコップを置き、同じ蹴りで蹴り飛ばします。どちらかが失敗するまで繰り返すが数度行っても決着がつかない場合はコップの大きさを小さくします。
- ・ ゆっくりと足の指先で蹴ってコップが落ちるだけの蹴りは失格となります。ある程度のスピードの蹴りでコップが飛んだ蹴りを成功とします。その判断は審判が行います。
- ・ 空手衣のズボンのすそがひっかけついたり、まくりあげて蹴技を行います。ポール(柱)を蹴ってケガをしないよう注意して下さい。
- ・ 蹴技を開始する前に「合わせ動作」を3回まで行うことが出来ます。「合わせ動作」はコップに触れないように行って下さい。「合わせ動作」は1回または2回でもかまいませんがこの場合は、選手は毛刺に「合わせ終わりました。」と申告して下さい。
- ・ 蹴技は主審の「構えて、始め」という号令の後から開始して下さい。主審の「構えて、始め」の前に蹴った場合は失格となり、ますので注意して下さい。

【スパーキングカラテルール】

- ・ ライトコンタクト・打撃力30%まで。
- ・ ノーガードでも面もしくは胴体に蹴りが当たれば有効(面の細の部分でも有効)。見事に蹴りが決まれば技あり。
- ・ 先手で足掛けを行い、相手の足裏以外がマットに着き、すかさず下段突きを止めれば有効。相手の技にカウンターで応答し蹴り決まった場合、下段突きなしで有効。
- ・ 他、全ての技が見事に決まった場合は技あり。
- ・ 突きにより、相手が一歩下がれば押ししのぎ。
- ・ 相手が大きくダメージを与え、相手に届かない蹴りを出し続けるなど、攻撃の意思が足らないうち、場合注意。
- ・ 攻撃をせずに前進し蹴りたり、相手を届かない蹴りを出し続けるなど、攻撃の意思が足らないうち、場合注意。
- ・ 有効ポイント、有効2つで技あり。技あり2つで一本。反則ポイントは極悪杯・若鷲杯ルールに則るものとする。
- ・ 両者ポイントがなければ、旗判定で決着する。
- ・ その他、判定や反則行為は極悪杯・若鷲杯ルールに則るものとする。

【留意事項】

- ①応援・観戦は入場無料です。朝食は各自ご用意下さい。ゴミは各自で持ちかえるようお願いいたします。
- ②選手は所属道場責任者の許可の上、お申込みください。(無断出場は失格になる場合があります。また個人情報は大大会運営以外には使用いたしません)
- ③試合中の負傷は応急処置をしますが、その後、早急に専門医師の診察・治療を受けてください。また各自、スポーツ保険等への加入をお願いします。
- ④主催者加入保険の補償限度を超える大会中の事故等による一切の責任は負いません。事故での保険申請は必ず主催者まで連絡をしてください。
- ⑤道着のそで・ズボンはまくり上げず、そでは肘にかかる長さまで、ズボンは引きずらない長さに事前に直してください。
- ⑥爪は短く整え、清潔な空手着、脱落しない防具を着用して下さい。団体名以外の過度なマーク・サイン等は白布を縫い覆い隠すようにしてください。
- ⑦体育館、近隣の施設に対する迷惑行為、器物破損等は厳禁です。(器物破損は弁償して頂きます) 選手・保護者・団体関係者の悪質な行為は失格・退場処分となります。なにとぞ大会進行・運営にご協力願います。
- ⑧対戦内容の個別のお問い合わせは応答できませんのでご了承ください。

【申込書記人注意事項】 ※記入漏れ・記入間違いがないようお願いいたします。

- ①申込書と当日の体重差が幼年・小学生で3kg以上、その他のクラスで5kg以上ある場合と上級部の軽量級・中量級、体重別クラスの体重オーバーは失格となります。(記入事項が組み合せや勝敗に有利に働くような虚偽の申告であった場合、審議のうえ失格になることもあります。)
- ②当日受付時にシール式ゼッケンをお渡しします。※空手衣の背中に貼り付けて下さい。
- ③参加申込書は縮小せずに使用して下さい。

-----キリトリセン-----

第9回極真杯・第17回若鯨杯空手道選手権大会参加申込書

大会実行委員長 殿 私議、本大会のルールに従って、正々堂々と試合をすることをここに誓います。

ルール違反や礼節を欠く振舞いをした場合、失格となっても異議を申し立てしません。

また、試合中に事故・怪我・疾病・災害等が生じた場合、主催者・関係者に対し加入保険補償以上の責任は求めません。なお、本大会の運営のため、下記の個人情報が使用されることに同意します。

平成29年 月 日 ※日付のご記入をお願いします

保護者氏名 _____ 印

(成人も署名捺印のこと。未成年者は保護者が署名捺印して下さい。署名捺印がないと出場出来ません。)

※極真杯申込者

のみ必要

顔写真(3×4cm)

空手着を着用

※2枚提出

(1枚貼付け)

(1枚添付)

参加費納入方法 ①現金書留 ②銀行振込 (月 日 振込予定・振込済み) ※申込締切 7月16日(日) 必着

ふりがな			性別	男・女 (○で囲む)	
氏名			職業または学校名		
生年月日・年齢	昭和・平成	年 月 日 歳	学年・他	小・中・高・大 年生・幼年(年小・年中・年長)	
段・級位	段	級	空手歴	年 ヶ月	
身長・体重	cm	kg (正確に記入)	格闘技歴	を 年	
所属団体・組織名	極真会館 浜井派		所属道場	愛知 石川道場 支部・分支部・道場	
住所	〒 _____		道場責任者氏名・連絡先・サイン欄	石川 昭 印 (TEL TEL・FAX 0562-95-1077)	
電話番号	() _____	携帯電話			
出場クラス (○で囲む)	【極真杯】 ①一般上級軽量級 ②一般上級中量級 ③一般上級重量級				
※小学生は学年を○で囲む	【若鯨杯】 ①幼年 ②小学(1年・2年・3年・4年・5年・6年)の部(初級・上級)				
	③小学女子(1年・2年・3年・4年・5年・6年)の部(初級・上級) ④中学生男子 ⑤高校生男子				
	⑥一般女子(中学生以上) ⑦壮年(初級・上級) ⑧一般中級 ⑨スパークカラテ				

下記も必ずご記入願います。

2017 第9回極真杯・第17回若鯨杯 トーナメント組み合せ用カード

ふりがな	性別	段位・級位	身長	体重	所属団体道場名	出場クラス
氏名	男 ・ 女	段・級	cm	kg		

過去2年以内の主な大会入賞実績(必ず記入して下さい) その他、白帯でも打撃格闘技経験がある場合は必ず記入して下さい。